



発行・カトリック水巻教会
 編集・広報委員会
 遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
 〒807-0025
 TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
 第357号

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

世の救いの協力者

マヘル神父

3月号のからしだねは、四旬節の黙想会の準備として教皇ヨハネ・パウロ二世が、信徒に対しての呼びかけで書かれたものを引用したいと思います。

信徒が祭司、預言者、王としての三つの使命に参与することは、洗礼による塗油に始まり、堅信によって強められ、感謝の祭儀において実現され、生き生きと持続されて行きます。この勧告によってもう一度、私は信徒の皆さんが、キリストの三つの部分からなる使命に参加していると語る公会議の非常に豊かで実り多い教えを、理解と愛をもって再読し、黙想し、身につけるように勧めたいと思います。ここで、この教えの基本原則を要約しておきます。

イエスは神の栄光と人類の救いの為、十字架上でご自分を捧げ、今なお感謝の祭儀においてご自分を捧げ続けています。信徒はまさにキリストのこの祭司としての使命に参与しています。洗礼を受けている者は、イエス・キリストと一つになった者として、自分自身と日々の活動を捧げることによって、イエス・キリストとその犠牲に結ばれるのです。(ローマ12・1-2参照) 信徒について語りながら、第二バチカン公会議はこう宣言しています。「すべての仕事、祈り、信徒的活動、結婚生活、家庭生活、日々の労苦、心身の休

養を聖霊において行い、なお、生活のわずらわしさを忍耐強く、耐え忍びならば、これらのすべてはイエス・キリストを通して神に魅せられる霊的いけにえとなり(一ペテロ2・5参照)、聖体祭儀の執行において主の体の奉獻と共に父に敬虔に捧げられる。このように信徒もまた、いずこにおいても聖なる行為をもって神に礼拝を捧げる者として、世そのものを神に奉獻するのである。「生活のあかしと言葉の力をもって父の御国を布告された。」キリストの預言者として使命に参与することによって、信徒には、信仰の内に福音を受け入れ、勇気をもって悪を糾弾し、言葉と行いによって福音を告げ知らせる力と責任が与えられています。

「偉大な預言者」(ルカ7・16)であるキリストと結ばれ、聖霊によって復活したキリストの「証人」とされた信徒は、「信仰において誤ることができない。」教会の超自然的の信仰の識別にも、言葉の恵みにも参与しています。(使徒言行録2・17-18・黙示録19・10参照) その故信徒は、家庭や社会生

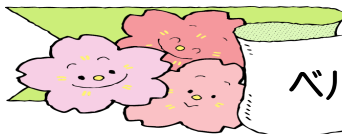
ベルトラン神父様	2・3面
小教区委員会報告	4・5面
教会学校	5面
福音と平和のつどい	6面
教区の日報告	7面
お知らせ・幼稚園から	8面

活の日々を福音の新しさと力で照らすように招かれ、また現在の種々の困難の只中で、将来の栄光に対する希望を「世俗生活の構造を通しても」忍耐と勇気をもって表すよう招かれています。

信徒は、宇宙の主であり王であるキリストに結ばれているので、その王としての使命に参与し、歴史の中で神の国を広げるように召されています。信徒がキリスト者としての王職を行使するのは、まず、第一に自分の中の罪の支配(ローマ6・12 参照)に打ち勝つための霊的な戦いにおいてです。次にすべての兄弟姉妹、特に最も小さいものの内におられる(マタイ25・40 参照)イエズスご自身に、

愛と正義をもって仕えるため、信徒は自分自身を捧げるものとするのです。特に信徒は、被造物をもっている本来の価値を全面的に取り戻すために招かれています。恵みの生命によって支えられた働きにおいて、被造物を人間の真の幸福に向けて秩序づけ、復活したキリストの権能の行使に参与します。その権能により、復活したキリストはご自分に引き寄せ、ご自分は御父に従うとともに万物を従わせ、こうして神がすべてにおいてすべてとなるのです。(ヨハネ12・32、一コリント15・28 参照)

【教皇ヨハネ・パウロ二世の使徒的勧告 NO14 の引用】



ベルトラン神父様の思い出

秦野 美智子

ベルトラン神父様のことを思い出す時、つい、顔がほころぶことが有ります。

私達の結婚披露宴の時のことです。司会者の方が「新郎、新婦、お立ちください。」と言われたときに、ベルトラン神父様も、すーっと一緒に立って下さいました。

みんなはちょっとびっくりしましたが、すぐ笑い顔になり、納得した様子でした。

神父様には「新郎、神父お立ちください」と聞こえたのです。

また、主人の親戚は、初めて身近に接する神父様でした。あの時のベルトラン神父様の優しい笑顔が会場の雰囲気をやや和やかにしてくれました。

主人は同じ寮の友達が、教会の話をしている姿を見たのがきっかけで、教会に行くようになりました。

ある時、地区の集まりに参加したら、青年は主人一人でびっくりしたそうですが、その時神父様から「これからも来てください。」と優しく言っていただいたとのこと。私も黒崎教会のJOCで指導して頂いていましたので、結婚披露宴の出席と祝辞をお願いしたら、快く引き受けて下さいました。

子ども達も水巻教会で初聖体、土曜学校、と大変お世話になりました。

ベルトラン神父様には、これまで神様のみことばと愛をたくさん注いでいただきました。本当にありがとうございました。



アンデレ・ベルトラン神父様追悼の感謝の祭儀

橋本富美



2月5日午後3時より、マヘル神父様・ベリオン神父様による共同司式により行なわれました。参加者はそれぞれベルトラン神父様に感謝したいと寄ってこられた方々です。三々五々聖堂に向かって来られる姿は神父様のまだまだ元気だと信じた方々でした。

2年前に行橋教会にお留守番に張り切って来られた神父様は、スマートホンを片手に、“これはどうして止まらない?なぜ!”と質問するほど、若々しく、やる気満々の、80歳の朗らかで、悪口をほとんど聞いたことのない北九州弁が上手な神父様らしい姿でした。

そして、集まった元シーグ(3年生から6年生の女子のグループ・イエス様の事を知らせる会)のリーダー達をニコニコして会話を楽しんで帰られ、皆を沢山、集めてくれてありがとうと、帰りの挨拶は、つい先程のような気がします。いつも我が家のお婆さんの事を心配して、どうですか?とメールをくださっていました。最後のメールは11月20日でした。目が段々見えなくなってきたので大きな字で送ってくれと段々と衰弱していく体を知らせたメールでした。いつも日本語でいいよと、気を遣ってくれる優しい大きな人でした。フランスに帰って心臓の検査を受け、その時に肺がんが見つかり、残念な結果となり、信じられませんでした。そのあと足を不自由になり、それでも、電動車いすで動けるまだ幸せだと言われ、他の神父様たちと会話が出来るというも前向きな姿でメールの上では、まだまだでした。

さて、ミサ当日の為にパンプレットの印刷・作成・聖堂のお花を生けて頂き、受付・司会・コーヒーの御接待などとお世話になりました。共同祈願のそれぞれ言葉が一段と花を添え“心の花束”を捧げて頂きました。そして、遺影のカードも尾林さんの写真の編集で美しく出来上がり、一枚一枚きつとお家で祈りに捧げて只けるように作りました。ベルトラン神父様らしい明るく、ずっしりと心に残る追悼ミサを目指して、永遠の命を信じて、典礼を考えました。説教で話された、ベリオン神父様のタラントンの話や、“私達の主キリストによって示された愛から、私達を切り離すことはできないのです。”という話を心に留め、これからも教会活動に頑張りたいと思います。

尚、皆さんから頂いたご霊前などはフランスの老人ホームにベリオン神父様を通して送らせていただきました。皆様からの献金は145000円。パリミッションの東京本部からパリへパリから老人ホームへ送ることになります。ベリオン神父様からも、皆様ありがとうございましたとのことでした。重ねてお礼申します。本当に皆さんに助けて頂き一緒に、祈り、感謝の心を捧げられ事を感謝します。

委員会等報告

2017年2月分

2月度小教区委員会 2月5日

1. 行事予定

- 3月1日(水)灰の水曜日
9:30～、 19:30～
- 3月5日(日)小教区委員会
10:50～12:00
納骨堂献金の取り扱いについて
13:00～14:00
- 3月12日(日) 黙想会
講師：高松司教区助祭 西川 康廣氏
昼食を挟んでの1日黙想会
弁当申込み事前受付 500円
9:30～ ミサ
10:45～12:00 講話
12:00～13:00 昼食
13:00～14:00 講話
- 3月17日(金)共同回心式
10:00～、19:30～
- 3月18日(土)役員会 10:00～12:00
- 3月24日(金)ホームレス炊き出し
- 4月9日(日)小教区委員会
10:50～12:00
納骨堂献金の取り扱いについて
13:00～14:00
- 4月16日(日) 復活祭

2. 議事

1. アンケートの実施について

信徒へのアンケートを実施します。個人ごとに考えは異なることから、水巻教会にいられている方全員を対象とします。(世帯ごとではありません!!)

3月26日が締め切りです。回収ボックスに入れて下さい。

アンケート用紙と共に、水巻小教区委員会規約および水巻教会役員選出規定を用意しています。合わせてお受け取り下さい。

2. 維持費の納入について

教会にいられていない方に、呼びかけも兼ねて、四旬節の手紙と維持費納入の依頼文を送ることにしました。これから毎年、継続的に呼びかけていこうと思います。そのために、維持費納入用の封筒とカードを単年度の様式に改めます。4月から一斉に切り替えることとします。

皆さんにお配りする四旬節の手紙に同封しています。4月分から新しい封筒とカードを利用ください。

なお、維持費の納入は経済的に自立している方は、同居していても、それぞれ維持費を納入する義務があります。ご理解ください。

3. 信徒総会について

2017年の信徒総会は6月25日を予定しています。

4. 幼稚園による司祭館の利用に伴う司祭館の移設について

2月19日に水巻聖母幼稚園 松川園長より幼稚園のこれからの考えについて説明いただきました。

幼稚園として

①経営の安定と質の高い教育

②地域のみならず広く、選ばれ、開かれ、奉仕する幼稚園にする

③教会と協働できる行事を共に進めることを進めていきたい。

具体的には、経営の安定のために園児数を2015年の45名から、将来120名規模にまで増やしたい。また、未就園児(1歳半から)も迎えていきたい。そのために、より良い教育環境と子供たちやその母親のための居場所(トイレ、授乳室、おむつ交換の場など)を整える必要がある。そのために、

幼稚園と一体構造となっている司祭館を使わせていただきたいとのことでした。

本件は宮原司教様にも相談しました。「水巻教会周辺は宅地開発も進んでおり、まだまだ発展できる余地がある。教会と幼稚園の将来について、前向きに検討してほしい。」と励まされました。教会と幼稚園が共に発展していくことを目指していきましょう。

3月に地区集会を開催し、皆様の意見をお伺いしていきます。



2月12日

出席者 山田 蓮さん

冊子「こじか」の中の「神父になった子ども」のページを蓮君が音読しました。

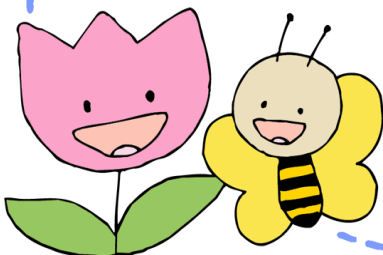
今年度のこのコーナーは以前水巻教会に司牧実習に来られていた古郡忠夫神父様が担当されています。

現在東京教区の主任神父として四年目を過ごされている古郡神父様が、ご自分の素直な思いを子ども達にも理解しやすい言葉で書かれています。

今回は、教会における声かけの大切さを、ご自分が体験された神父様同士の交わりを通して説明されていました。古郡神父様の文章を一部ご紹介させていただきます。

『聖書の一番初めにある人間の創造の場面、人は神様のいのちの息をふき入れられて、生きるものとなりました。ことばは息です。小さな息の交換が人を人とさせ、

人を生かすのです。小さなことばを山ほどかけ合いながら、神様の息の中でいきいきと生きる人の集まり、それが教会です。ふだんからそれを意識しながら、教会にいらっしゃる方をお迎えしたいと、私は今、そういうふうに思っています。』



＜福岡教区信徒使徒職協議会主催の「福音と平和のつどい」＞

テーマ「いのちを大切にできる社会をめざして ---見て、聞いて、知って、働く---」

2月11日に大名町教会にて開催 記録：田中 拓

水巻教会からマヘル神父含め8名が参加しました。Sr. マリア・コラレスの基調講演に続いて、憲法問題や原発問題、障害者問題、子どもの貧困、死刑廃止、外国籍・移住労働者問題についての分科会が開催されました。

ここでSr.マリア・コラレスの「社会の中に福音を生きる」と題する基調講演の内容を簡単に紹介します。シスターはスペイン生まれ、22歳で来日し、大阪西成地区で日雇い労働者の支援等をこれまで58年に渡り、続けてこられました。

1980年頃ある高校で、タバコの吸い殻が見つかりましたが、誰も名乗り出なかった。そこで教師が全員の指紋を調査すると発言したところ、人権問題として大きく新聞で取り上げられ校長先生が謝罪するという事件がありました。それなのに外国人が指紋押捺することについては、誰も差別だと声を上げない。このことに疑問を感じ、指紋押捺を拒否したそうです。来日して20年間、何も知らずに過ごしてきた。知らないということは怖いと感じたそうです。

指紋押捺を拒否した時、「さすがだね。スゴイね。」という賛成の声と「シスターが社会活動をするのか」という批判の声が上がりました。しかし、シスター自身は、国に対して声を上げたわけではない。神の教えに従っただけと仰っていました。

イエス様が生きた時代、司祭や律法学者は苦しんでいる人よりも掟を優先した。掟に

人々が苦しめられていた。一方、キリストは、苦しんでいる人に手を差し伸べることを優先した。罪人と付き合うのかなどと批判され、時代に受け入れられず十字架につけられた。しかし復活により、キリストの姿勢こそが正しい事が示された。イエス・キリストは社会を変えようとした。私たちは、このイエスの生きざまに倣って生きる事が求められている。

福音は知識として伝えるものではなく、生きるためのもの。西成地区の日雇い労働者は野宿している人も多い。そんな人たちが当たり前のように、1つのおにぎりや毛布をゆすり合って生きている。炊き出しや毛布を与えることは解決にはならない。しかし、神を知らない人々が正に福音に生きている姿に教えられた。社会を変える。人々が生かされる社会をつくる。これこそが、イエスの生き方であり、福音宣教である。

「活動せよ」と活動を押し付けるつもりはない。よきサマリア人のたとえを取り上げながら、隣人愛の実践が宣教活動そのものである。神の望みにこたえて、自分の生き方を変える。人々が大切にされる社会を実現する。これが「社会の中に福音を生きる」ということだと仰っていました。

水巻教会のこれからを考える時、イエスキリストに倣い、この「社会の中に福音を生きる」という姿勢を大切にしていきたいと思えます。



福岡教区「福音と平和のつどい」に参加して



2月11日福岡大名町教会で、聖母被昇天修道会のシスター マリア・コラレスさんのお話を聴くことが出来ました。シスターは大阪の釜が崎地区において活動されています。基調講演は「**社会の中に福音を生きる**」というテーマでした。要旨を報告します。

『神を信じることと認めることは、少し違います。前者は単に信じて祈ることで、後者は信じて生活の中に行動を移すことです。ともすれば知っている事が信仰に生きている事だと、勘違いします。福音は私たち信徒の所有物ではありません。』

シスターが言われた「**福音は世界遺産である**」という言葉も耳新しかったです。

『その生き方、キリストの価値観に生きるという事がどんな事であるか。私が持ち過ぎているから足りない人がいる。神は社会の中で人が大切にされる事、それを切に望まれている』

シスターは 日雇い労働者とともに働くなかで、さまざまな事に気付かされたと言います。
*弁当を盗られた話がありました。

ある日雇い労働者に配っていた弁当が盗まれてしまった。心配したシスターにその労働者が言ったことは「**いいよ、俺よりひもじい人が盗ったんやろうから。**」

*フジヤンの話

彼は8回もパクられたが(警察に連れて行かれた)「**俺はみんなのかわりが出来て、俺のかわりに誰かが仕事にありつけるやろう**」と言っていました。

今日、来る前、映画を観てきました。「**海は燃えている**」ジャンフランコ・ロージ監督のドキュメンタリーです。

イタリアの最南端のランペドゥーサ島。そこはアフリカや中東からヨーロッパを目指す難民の通り道となり 5,500人ほどが暮らす島に年間5万人もの難民が押し寄せるといふ。イタリア海軍に救助される難民はまだしも、「助けて」と発信しながらも、自分達の現在位置を伝えられずに通信が途絶えてしまう船や、運良く助けられた船でも鈴なりの難民がいる。それも三層に分かれており、甲板にいる人達は一番多くのお金を払えた人達、その下には次に高いお金を払った人達、船底部分はお金が低い人々で、身動きも取れないような状態に積み込まれ、空気も悪く食べ物もなく、熱で脱水症となり、エンジンの熱等で火傷になり、助けられた時には45人もの遺体と一緒に、自分で動く事すら出来なくなった人もいた。彼らは特別に何かをしたわけでもなく、たぶん私たちと同じように普通に生きて家族と暮らしていたかっただけです。

*島でつつましく暮らす人々と難民の現実 (ジャンフランコ・ロージ監督の言葉)

「人々は互いに近くにいるが、コミュニケーションがとれていない。これが今の世界のメタファー(隠された隠喩)なんだ」

梅の木地区 俵 泰子



★灰の水曜日★

日 時：3月1日(水)
午前9時30分～、午後7時30分～
※この日は、大斎・小斎です

★特別献金★

1月31日
世界こども助け合いの日献金
28,800円
ご協力、ありがとうございました。

★特別寄付★

海老津地区の久保園明光様よりご寄付をいただきました。ありがとうございました。

★黙想会★

日 時：3月12日(日)
ミサ 9:30～
講話 10:45～12:00
昼食 12:00～13:00
講話 13:00～14:00
指導司祭 高松事務局長 西川助祭

★共同回心式★

日 時：3月17日(金)
午前10時～、午後7時30分～
水巻教会で参加できない時は、北九州信徒協だよりに、他の教会の共同回心式の日程が載りますので、そちらをご覧ください。

★レプトン会からのお知らせ★

○伊万里トラピストクッキーとワイン
販売収益 26,170円
○イエスのカリタス修道女会ペルー共同体に、360,000円を送りました。
皆様のご協力、ありがとうございました。
これからもペルーの貧しい子ども達への支援を続けていきますので、たくさんの方のご協力をお願いします。
また、新しい会員を募集しています。



【転入】ようこそ！水巻へ

◇松岡 フサエさん・宏さん
黒崎教会から遠賀地区へ



水巻聖母幼稚園から3月のお知らせ

今年度もたくさんのお祈りをありがとうございました。
いつもお祈りで支えてくださっていることに感謝の気持ちでいっぱいです。

☆「みんななかよく」 日時：3月9日(木)10時30分～ 幼稚園2階ホール

『水巻図書館・お話し会』

地域の水巻図書館の職員の方々から楽しいお話が幼稚園で聞けますよ♪
小さなお子様も楽しめるお話会です。ぜひご来園ください。職員一同お待ちしております！

☆「第54回 水巻聖母幼稚園卒園式」

日時：3月18日(土)10時～ 水巻カトリック教会聖堂

園長 Sr.松川明子 職員一同